

## ア E 「クロスボーン・ガンダム」

### アラナ・バタラ

|       |   |    |
|-------|---|----|
| 機体名   | アラナ・バタラ   | 画像 |
| 型式番号  | EMS-06-P  |    |
| 英語名   |   |    |
| 所属    | 木星帝国残党  |    |
| パイロット | 木星軍残党司令官  |    |
| 装甲材質  |   |    |
| 装備    | ストリング・ガン7連装ビームサーベル                                |    |
| 作品名   | 機動戦士クロスボーン・ガンダム外伝                                 |    |
| 参考書籍  | 機動戦士クロスボーン・ガンダム スカルハート<br>ガンダムエース 2003年9月号 No.013 |    |

### 内容

#### 内容（スカルハート）

アラナを製作するために、バタラにパーツをつけた実験機。

機体バランスの実験のために使われた。

特殊兵器である、ストリング・ガンは、海賊行為を繰り返していたと思われる木星軍残党たちが、その使用目的に合わせて戦役後に取り付けたものと考えられる。

また、7本のビームを発するサーベルはX3のムラマサ・バスターを再現しようと試みられた武装で、やはり残党軍のオリジナルのようである。

#### 内容（ガンダムエース連載直後に当サイトで編集）

おそらくその姿と型式番号から木星軍・後期量産計画機であるアラナのプロトタイプと思われる機体。

（プロトタイプだとは一度も書かれていないことに注意）

バタラをベースに蜘蛛型の上半身を被ったような姿をしている。

MSを拘束することが可能なワイヤー状の武器でX1を拘束、アラナ数機に押さえつけさせて攻撃をするがそのX1のパワーとトビアの機転の前に敗れ去る。

ワイヤー状の武装の他には、クロスボーンガンダムX3のムラマサ・バスターを模したかのような7連装ビームサーベルを使用する。

### 備考

### スペック

| 項目  | 内容 |
|-----|----|
| 全高  |    |
| 頭頂高 |    |
| 全長  |    |

|           |  |
|-----------|--|
| 本体重量      |  |
| 全備重量      |  |
| ジェネレーター出力 |  |
| スラスタ-推力   |  |
| センサ有効半径   |  |